

平成30年度  
コレクション展示作品目録  
展示室3

展示室3 福沢一郎 2018年4月14日(土)～6月17日(日)

群馬県富岡に生まれた洋画家・福沢一郎(1898－1992)は、一貫して「主題(テーマ)」の表現を追い求めた、日本洋画史において異彩を放つ画家です。65年に渡る長い画業のなかで、表現のスタイルを次々に変化させながらも、いかに主題を作品に表現するかを追求しつづけました。

日本におけるシュルレアリスムの先駆として知られる1930年前後から、70年代の「地獄」シリーズまで、当館では、福沢一郎の絵画作品を70点以上所蔵しています。今年は福沢の生誕120年にあたり、その中から代表作を中心に21点をご紹介します。

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	初出展覧会	備考
1	人間嫌い	1928(昭3)	油彩・カンヴァス	71.2×51.9		
2	無敵の力	1930(昭5)	油彩・カンヴァス	90.9×116.7	第1回独立美術協会展(1931)	作者寄贈
3	怖るべき子供	1930(昭5)	油彩・カンヴァス	60.3×81.0	第1回独立美術協会展(1931)	作者寄贈
4	嘘発見器	1930(昭5)	油彩・カンヴァス	72.7×100.0		作者寄贈
5	科学美を盲目にする	1930(昭5)	油彩・カンヴァス	130.3×162.1	第1回独立美術協会展(1931)	作者寄贈
6	他人の恋	1930(昭5)	油彩・カンヴァス	162.1×130.3	第1回独立美術協会展(1931)	作者寄贈
7	定めなき世に定めなき小夜衣 明日は誰が身の妻ならぬかは	1931(昭6)	油彩・カンヴァス	114.3×160.3	第2回独立美術協会展(1932)	作者寄贈
8	虚脱	1948(昭23)	油彩・カンヴァス	116.7×90.9		作者寄贈
9	敗戦群像	1948(昭23)	油彩・カンヴァス	193.9×259.1	第2回現代美術総合展(敗戦の記念碑)	作者寄贈
10	水瓜を持つ男	1955(昭30)	油彩・カンヴァス	130.3×97.0	第16回美術文化協会展	作者寄贈
11	闘牛	1956(昭31)	油彩・カンヴァス	162.1×130.3	第6回ヴェネツィア・ビエンナーレ国際展	寄託作品
12	祈り	1958(昭33)	油彩・カンヴァス	259.1×193.9	第3回現代日本美術展	作者寄贈
13	地痕	1959(昭34)	油彩、石膏ほか・カンヴァス	193.9×259.1		伊勢崎市寄贈
14	黒人聖歌	1962(昭37)	油彩・カンヴァス	259.1×193.9	第5回現代日本美術展	作者寄贈
15	祝祭	1963(昭38)	油彩・カンヴァス	199.8×399.7	第7回日本国際美術展	作者寄贈
16	プラカードを持つ女	1965(昭40)	アクリル・カンヴァス	131.5×103.7	個展(戒橋画廊 1966)	作者寄贈
17	ニンフと牧神	1970(昭45)	アクリル・カンヴァス	181.8×227.3	個展「石は語る」(彩壺堂)	作者寄贈
18	追われる亡者達	1970(昭45)	アクリル・カンヴァス	227.3×181.8	個展「地獄門」(彩壺堂 1971)	作者寄贈
19	ダンテ暗闇の森へ	1971(昭46)	アクリル・カンヴァス	181.8×227.3	個展「地獄門」(彩壺堂)	作者寄贈
20	群馬県民会館第一緞帳下絵	1971(昭46)	アクリル・カンヴァス	100.0×200.0		作者寄贈
21	トイレット・ペーパー地獄	1974(昭49)	アクリル・カンヴァス	181.8×227.3	個展「厭離穢土・欣求浄土」(東京セントラル美術館)	作者寄贈